

令和4年度

福岡市博物館オンライン出前学習事業実施要領



福岡市博物館

福岡市早良区百道浜3丁目1-1

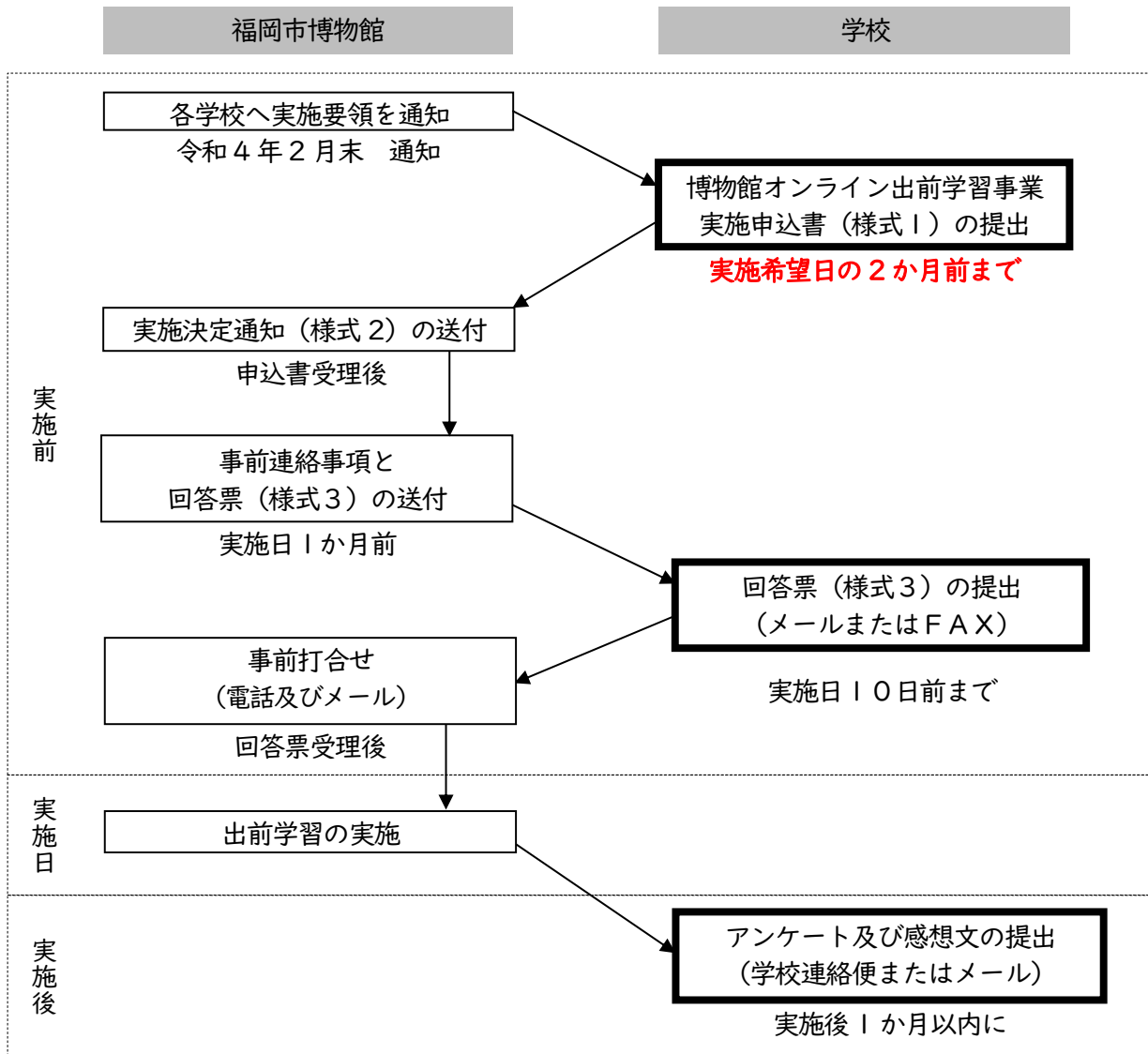
TEL 092-845-5011

FAX 092-845-5019

## 令和4年度 福岡市博物館オンライン出前学習事業実施要領

1. 目的 福岡市博物館（以下、博物館）の教育普及事業を通して、郷土福岡の貴重な歴史や文化、文化財及び、それらを扱う博物館について興味・関心を持ち、理解を深めるとともに、郷土を愛する心と未来を考える力を育むことを目的とする。
2. 対象 離島などの地理的要因や、院内学級などの事情により対面での出前学習が困難な福岡市立小・中学校および福岡市立特別支援学校の児童・生徒
3. 実施期間 令和4年9月から令和5年3月末までの学校の授業日で、博物館が対応可能な日時
4. 講師 博物館 集客・広報普及専門員（教育普及担当）
5. 博物館出前学習の内容
  - (1) オンライン出前学習と、対面での出前学習及び体験学習の重複申し込みは不可。
  - (2) リモート会議ソフトは ZOOM か Meet を使用する。
6. 教材 博物館が負担するものと、学校や児童・生徒に材料を準備してもらうものがある。
7. 申し込みから実施までの流れ
  - (1) 申し込み  
希望校は「令和4年度福岡市博物館オンライン出前学習事業実施申込書（様式1）」を提出する。  
**◎随時受付（実施希望日の2か月前までに提出）**  
**原則第5希望まで記入する。希望日程が少ない場合は、事前に博物館へ相談する。**
  - (2) 決定及び通知  
博物館は、日程を調整・決定し、各学校長あてに「実施決定通知書（様式2）」を送付する。  
なお、日程調整が困難な場合は関係各学校と変更協議等を行う可能性もある。
  - (3) 回答票の提出  
実施1か月前に博物館から送付の「令和4年度 福岡市博物館オンライン出前学習の実施について（通知）」に付随する「令和4年度福岡市博物館オンライン出前学習事業実施回答票（様式3）」を記入し、実施日の10日前までにメールまたはFAXで提出する。
  - (4) 事前打合せなど  
担当者とは回答票（様式3）をもとに、電話及びメールにて事前打合せや最終確認を行う。
  - (5) 実施後の報告  
博物館出前学習終了後に「福岡市博物館オンライン出前学習事業アンケート」及び児童・生徒感想文を、学校連絡便またはメールにて提出する。

## 令和4年度福岡市博物館オンライン出前学習事業の流れ



### 【留意事項】

- (1) 出前学習の開始時刻は、原則として**9時45分以降**とする。  
※これより前の時間を希望される場合は事前に連絡すること。
- (2) 太枠は学校からの提出物となる。  
※期日及び提出方法は上記の通り。

### 【提出先】福岡市博物館運営課 教育普及担当

- メール：hakubutsukan.gakushu@city.fukuoka.lg.jp
- FAX：092-845-5019

### 【問合せ先】集客・広報普及専門員（教育普及担当） 帆足・三角

TEL：092-845-5011

令和 年 月 日

(あて先) 福岡市博物館運営課 教育普及担当

学校名 福岡市立  
校長名

学校・特別支援学校

FAX番号

担当者 職・氏名

## 令和4年度 福岡市博物館オンライン出前学習事業実施申込書

下記のとおり申し込みます。

学年・人数	学年 ( ) 学級数 ( ) 学級 児童・生徒数 ( ) 人				
希望メニュー	メニュー No. ( ) タイトル ( )				
希望日時 ※第5希望 まで記入	第1希望	月	日	曜日	時 分から 時 分 まで
	第2希望	月	日	曜日	時 分から 時 分 まで
	第3希望	月	日	曜日	時 分から 時 分 まで
	第4希望	月	日	曜日	時 分から 時 分 まで
	第5希望	月	日	曜日	時 分から 時 分 まで
留意事項	<p>1. <u>原則、第5希望まで記入してください。</u> <u>希望日が少ない場合は、事前に博物館までご相談ください。</u></p> <p>2. <u>開始時間は原則として9時45分以降とします。</u> ※これより前の時間を希望される場合はご相談ください。</p>				
備考 ※要望等があれば記入					

(様式2)

経博運第 号

令和 年 月 日

福岡市立 学校長 殿

福岡市博物館運営課長

## 令和4年度 福岡市博物館オンライン出前学習事業の実施決定について（通知）

日頃から当博物館事業に格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、先に申し込みいただきました福岡市博物館オンライン出前学習事業について、下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

つきましては、実施日の1か月前に回答票（様式3）及び事前連絡事項を担当より送付しますので、よろしくお取り計らい願います。

### 記

#### 1 出前学習名（メニュー）

No. ( ) タイトル ( )

#### 2 実施日時

令和 年 月 日 ( ) 時 分から 時 分まで

#### 3 講師

集客・広報普及専門員 名（予定）

※講師名は事前連絡の際にお知らせします。

#### 4 その他

実施1か月前に「令和4年度福岡市博物館オンライン出前学習事業実施回答票（様式3）」及び事前連絡事項をメールで学校宛に送付しますので、必要事項をご記入の上、実施日の10日前までにメールまたはFAXでご提出をお願いします。

#### 5 実施回答票提出先

福岡市博物館運営課 教育普及担当

○メール：hakubutsukan.gakushu@city.fukuoka.lg.jp

○FAX：092-845-5019

#### 6 問合せ先

集客・広報普及専門員（教育普及担当） 帆足・三角

T E L : 092-845-5011

令和 年 月 日

福岡市立 学校長 殿  
出前学習担当者 様

福岡市博物館運営課長

令和4年度 福岡市博物館オンライン出前学習の実施について（通知）

先にお申し込みいただきました福岡市博物館オンライン出前学習事業の実施が近づいてまいりました。つきましては、別紙「令和4年度福岡市博物館オンライン出前学習実施回答票（様式3）」の確認事項にご記入の上、実施日前までにメールまたはFAXでご返送ください。  
なお、別添の事前連絡事項をご一読のうえ、指導内容や学習の流れなどにご不明な点がございましたら、下記指導者名の◎印がついている担当講師へ問い合わせをお願いします。

記

1. 実施日時 令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分
2. コース名 「 」
3. 実施当日の担当講師名 ※ ◎及び○がついている者が担当します。

集客・広報普及専門員（教育普及担当）

帆 足	
三 角	

集客・広報普及専門員（団体受入担当）

小田川	
-----	--

4. 実施回答票提出先  
福岡市博物館運営課 教育普及担当  
○メール：hakubutsukan.gakushu@city.fukuoka.lg.jp  
○FAX：092-845-5019
5. 問合せ先  
集客・広報普及専門員（教育普及担当） 帆足・三角  
TEL：092-845-5011



令和4年度 福岡市博物館オンライン出前学習事業 学習メニュー 一覧

No.	タイトル	学年の目安	主な内容	活動について
1	郷土の芸能に触れよう	低学年～ 中学年	福岡の伝統的な芸能や文化について紹介し、 福岡市指定無形民俗文化財の博多仁和加で 使われるにわか面をつくる。	<b>体験活動</b> ・面の型紙に色を塗り、オリジナルの にわか面をつくる。
2	国宝「金印」の使われ方 を知ろう	高学年～ 中学部	国宝「金印」の歴史などを紹介し、 紙箱に「金印」のレプリカで封泥する。	<b>体験活動</b> ・「金印」のレプリカを用いて、 紙箱を封泥（封印）する。
3	楽器の音を聴き比べよう	低学年～ 中学年	体験学習室の楽器とそれに関する文化を紹介し、 さまざまな楽器の音を聴き比べる。	<b>ワークシート活動</b> ・ワークシートに取り組みながら、 楽器の音を聴く。
4	博物館オンラインツアー	全学年	博物館の特徴や役割について 館内を巡りながら紹介する。	<b>ワークシート活動</b> ・ワークシートに取り組みながら、 リモート観覧する。

- ◇ 授業時間は全て、接続テスト20分+授業80分の計100分です。
- ◇ 児童数が多い場合は、分割して実施します。（たとえば、午前2クラスと午後3クラスなど）
- ◇ 一校当たりの申込回数や申込テーマ数に制限はございません。
- ◇ 参加者の学年に問わず、すべてのメニューを選択できます。また、児童・生徒に合わせて、内容の難易度は調整します。  
特に取り扱ってほしいトピックや教材がある場合はお知らせください。



## 〈メニュー概要〉

### 郷土の芸能に触れよう

#### 1. 概要

博多にわかなど福岡の伝統的な芸能に関する講話と、博多にわか顔づくり体験を行います。

#### 2. 目的

- ・福岡の芸能に関する講話を通して、郷土の芸能や文化に親しみを持つ。
- ・得た知識を体験活動で深め、地域の歴史や文化、文化財への興味・関心の向上へつなげる。

#### 3. 学習の流れ（接続テスト 20 分、授業 80 分の計 100 分）

○接続テスト（20分）

●あいさつと講話（30分）

- ・講師あいさつ、博物館の紹介
- ・福岡の伝統的な芸能に関する講話

○休憩（10分）

- ・体験活動の準備

●体験活動（35分）

- ・オリジナルの博多にわか顔づくり
- ・工夫した点や感想の発表

●学習のまとめ、おわりのあいさつ（5分）



#### 4. 用意するもの

学校	博物館
①筆記用具	①学習プリント
②色鉛筆やカラーペンなどの着色用画材	②博多にわか顔の型紙
③はさみ	③児童・生徒用感想用紙
④輪ゴム又はひも(1人につき2本)	④先生用アンケート用紙

#### 5. 先生方へのお願い

- ・事前に学習で使うプリントや顔の型紙のデータをお送りするので、実施日までに印刷し、児童・生徒へ配布をお願いします。
- また、先生方で取り上げてほしい芸能や地域があれば、ご相談ください。
- ・体験活動をスムーズに進めるため、子どもたちのサポートをお願いします。

※体験の手順やコツ等は別途、事前連絡で送付予定の「学習のてびき」にてお知らせします。

# 国宝「金印」の使われ方を知ろう

## 1.概要

博物館職員による国宝「金印」の歴史や使われ方の講話と、国宝「金印」のレプリカを用いた封泥体験（メッセージの封印）を行います。

## 2.目的

- ・ 国宝「金印」に関する講話を通して、国宝「金印」やそれに関する歴史を学ぶ。
- ・ 得た知識を体験活動で深め、郷土の歴史や文化財への興味・関心の向上へつなげる。

## 3. 学習の流れ（接続テスト 20 分、授業 80 分の計 100 分）

○接続テスト（20分）

●あいさつと説明（30分）

- ・ 講師あいさつ、博物館の紹介
- ・ 国宝「金印」に関する講話

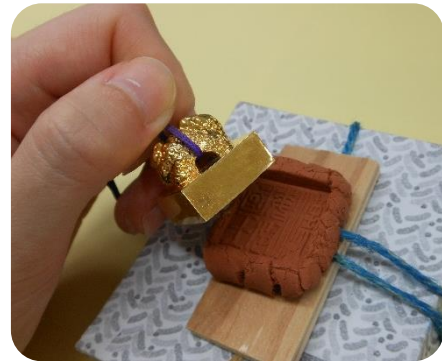
○休憩（10分）

- ・ 体験活動の準備

●体験活動（35分）

- ・ 「金印」レプリカを用いた封泥体験
- ・ 感想や気づいた点の発表

●学習のまとめ、おわりのあいさつ（5分）



## 4. 学習で用意するもの

学校	博物館
①紙箱(1人1つ) ※10 cm×10 cm×2 cmぐらいの大きさのもの ②メッセージを書いたお手紙やカード ③水入れと少量の水 ④タオルやウェットティッシュ	①粘土、麻紐、木片 ②国宝「金印」のレプリカ（※要返却） ③学習のプリント ④児童・生徒用感想用紙 ⑤先生用アンケート用紙

## 5. 先生・保護者の方へのお願い

- ・ 事前に箱と中に入れるお手紙やカード(メッセージ記入済み)のご用意をお願いします。また、プリントの印刷と児童・生徒へ配布もお願いします。
- ・ 体験活動をスムーズに進めるため、子どもたちのサポートをお願いします。
- ・ 金印の押印後、乾燥させる場所の確保をお願いします（粘土が乾燥するまで1~2日かかります）。

※体験の手順やコツ等は別途、事前連絡で送付予定の「学習のてびき」にてお知らせします。

# 楽器の音を聴き比べよう

## 1. 概要

博物館が所蔵する体験学習室の資料を用いて、アジアを中心とした地域の楽器や文化に関する

講話と、様々な楽器の音を聴き比べます。

## 2. 目的

- ・世界の楽器を通して、さまざまな文化への関心を高め、多様性の尊重につなげる。

## 3. 学習の流れ（接続テスト 20 分、授業 80 分の計 100 分）

○接続テスト（30分）

●あいさつと講話（30分）

- ・講師あいさつ、博物館の紹介
- ・アジアを中心とした地域の楽器と文化の講話

○休憩（10分）

- ・体験活動の準備

●体験活動（35分）

- ・さまざまな楽器の音の聴き比べ
- ・感想や気づいた点などの発表

●学習のまとめ、おわりのあいさつ（5分）



## 4. 学習で用意するもの

学校	博物館
①筆記用具	①学習資料プリントとワークシート ②児童・生徒用感想用紙 ③先生用アンケート用紙

## 5. 先生方へのお願い

- ・事前に学習で使うプリントやワークシートのデータをお送りするので、実施日までに印刷し、児童・生徒へ配布をお願いします。

また、先生方で取り上げてほしい楽器や地域があれば、ご相談ください。

- ・体験活動をスムーズに進めるため、子どもたちのサポートをお願いします。

※体験の手順やコツ等は別途、事前連絡で送付予定の「学習のてびき」にてお知らせします。

# 博物館オンラインツアー

## 1. 概要

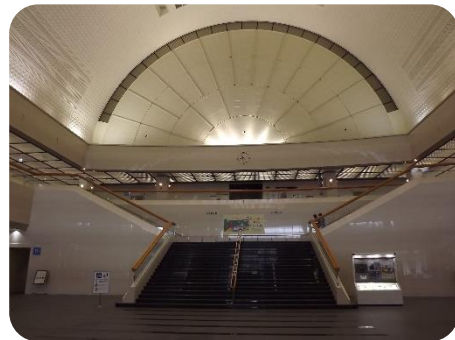
博物館の役割や特徴、施設的な工夫についての講話と、オンライン館内ツアーを行います。

## 2. 目的

- ・博物館の役割や特徴などを知り、郷土の歴史や人々の暮らしへの関心を高める。
- ・館内の様子を観察しながら、施設の工夫や公共施設でのルールを学ぶ。

## 3. 学習の流れ（接続テスト 20 分、授業 80 分の計 100 分）

- 接続テスト（20分）
- あいさつと講話（20分）
  - ・講師あいさつ
  - ・博物館の役割や特徴に関する講話
- 休憩（10分）
  - ・体験活動の準備
- 体験活動（45分）
  - ・オンラインによる館内ツアー（グランドホールや常設展示室など）
  - ・感想や気づいた点の発表
- 学習のまとめ、おわりのあいさつ（5分）



## 4. 学習で用意するもの

学校	博物館
①筆記用具	①学習プリントとワークシート ②児童・生徒用感想用紙 ③先生用アンケート用紙

## 5. 先生方へのお願い

- ・事前に学習で使うプリントやワークシートのデータをお送りするので、実施日までに印刷し、児童・生徒へ配布をお願いします。
- また、先生方で取り上げてほしい博物館内のスポットやトピックがあれば、ご相談ください。
- ・体験活動をスムーズに進めるため、子どもたちのサポートをお願いします。

※体験の手順やコツ等は別途、事前連絡で送付予定の「学習のてびき」にてお知らせします